

部署紹介

2階病棟 [回復期リハビリテーション病棟]

2病棟では、患者さんを中心に医師・看護師・介護福祉士・看護助手・リハビリセラピストや医療ソーシャルワーカー・栄養士・薬剤師といった多職種が入院当初から関わっています。そして患者さんが在宅退院へ向けて頑張れるよう情報を共有して、同じ目標に向かってチームでアプローチしています。

病棟訓練では患者さんの「できるADL」が「しているADL」となるように支援しています。また、多職種で構成した排泄・更衣・摂食嚥下・認知症・ポジショニングのチーム活動に意欲的に取り組んでいます。さらにリハビリ以外の時間でもレクリエーション活動で楽しく過ごしてもらおう取り組みも行っています。



3階病棟 [地域包括ケア病棟]

3階病棟は地域包括ケア病棟で、在宅や施設等で療養されている方が急性増悪し治療が必要になって入院される方や治療の目途が立ち在宅復帰に向けての準備を必要とする方、リハビリテーションを必要されている方等、幅広く対象としています。入棟時より、退院時の目標や退院に関する問題をスタッフで確認、共有しながら日々のケアを行っています。患者さんやご家族が安心して在宅へ復帰出来るように、退院支援調整看護師と受け持ち看護師が中心となって、多職種でのカンファレンスを行ったり自宅訪問に行ったり、在宅での生活を支えるチームの方々と情報交換を行ったりして、切れ目のない支援を目標に取り組んでいます。



部署紹介

4階病棟

4階病棟は整形外科疾患で周術期治療や保存的治療、肺炎や心不全などの内科疾患の急性期治療を必要とする患者さんへの看護を行っています。継続的リハビリテーションを必要とする患者さんは他病棟へ転棟となるため、入院・退院に加え転出が多い病棟です。そのため4階病棟から直接在宅にもどられる方への退院支援だけでなく、転棟予定の方に対しても、入院翌日には退院を困難にする要因がないかスクリーニングを行い在宅に向けての支援を行っています。スタッフは20～30歳代の若い看護師が多く明るく活気があります。入院患者さんにはご高齢の方も多く、できる限り患者の側に寄りそう看護を目指して取り組んでいます。



外来

外来では受付窓口と連携を密に行い、感染症疑いや緊急を要する患者さんの情報の伝達を速やかに行い診療につなげています。診療科は内科、整形外科、リハビリテーション科、精神科の他、専門外来があります。内科には消化器や血液内科、神経内科、糖尿病内科、呼吸器など、専門医がおり、物忘れ外来での認知症の診断や睡眠時無呼吸症候群の診断も行っており、診療の補助だけではなく、生活指導や家庭でのケア方法の説明等、幅広い看護を行っています。整形外科では手術目的で受診される患者さんへの入院前説明や骨粗鬆症検査外来での看護も行っています。来院された患者さんの不安な気持ちを受けとめ笑顔での対応を心がけています。

